

●全国非開削普及協議会(24日)

岡本州雄会長＝写真＝は、冒頭のあいさつで「全国自治体への普及活動、そして雨水貯留浸透技術協会の公的認定がインパクトを与え、E G S M工法の採用実績は941カ所(E R工法含む)となり、一昨年の2倍となった」と着実に実績が拡大していることを示し、ことし7月の下水道展2012神戸でも、協議会ブースへの来訪者は743人を数え、同工法の周知と協議会活動が広がっていることを説明した。

また、12年度も東日本大震災の復旧

・復興のためにも「環境にやさしい掘らない技術」をテーマに、公的認定を最大の武器に普及活動を推進する考えを示した。

総会では予算案などを可決し、各部会の活動報告があった。後半は、雨水貯留浸透技術協会の屋井裕幸第二技術部部長による技術講習会、続いて日本推進技術協会の石川和秀専務理事の特別講演があり、非開削工法、推進工法などの将来展望を学習した。



東京

発行所 建通新聞社
首都圏本部東京支社
東京都港区新橋1-17-2
〒105-0004 電話(03)3504-3551
多摩支局 電話(04)527-7291
<http://www.kentsu.co.jp/>
新聞定価6ヶ月 39,000円(税込)
© 建通新聞社 2012
発行所
神奈川/静岡/中部/大塚/岡山
香川/徳島/愛媛/高知

平成24年8月24日 メルパルク東京にて開催した
第九回定時総会内容が、建通新聞に掲載されました。

< 岡本会長ご挨拶 >

平成23年度総括 平成24年度活動方針



< 推進工事普及部会報告 > < 環境保全技術普及部会報告 >



影目副会長



有田副会長

大久保理事

< 技術講習会 >

「雨水浸透技術の現況と
今後のビジネス展望について」

公益社団法人
雨水貯留浸透技術協会
技術第二部 部長

屋井裕幸様



< 講演 >



公益社団法人 日本推進技術協会 専務理事 石川和秀様



「推進技術は推進工事を超える」

都市の地下を舞台に 足して 引いて
継いで 支えて 更生させ 未来都市の
生命を守る - 推進技術は都市の地下
インフラを保持向上させる。

「基本的要素技術」となる。

< 会場風景 >



閉会の辞 小荒井理事